

自分らしさ応援EXPO【北海道苫小牧市】

地域の実情と課題

本市の地域性として、製造業、運輸業に占めた男性従業員割合が、他市町村と比較しても多く、ものづくり産業＝男性といったように、性別による固定的な役割分担意識の解消を踏まえた取組が課題となっています。

事業の特徴

市長を座長として、企業や各団体の代表者が集まり、構成される市民会議が男女平等参画推進のためのミッションを設定し、ミッションを達成するため市と協働して、男女平等参画を推進するイベント「自分らしさ応援EXPO」を実施しました。

事業の効果

男女平等参画を推進するオンデマンド動画について10本作成し、合計で1,900回以上の再生回数を記録。対面で行った「家族だけではなく地域で支える子育て」には77名参加、「カードゲーム『SDGs2030』オンライン」には16名が参加しました。

目的・目標

社会全体で男女の地位などに差はないと感じている人を増やします。

14.9%(平成27年度)→25.0%(令和3年度目標)

苫小牧市男女平等参画都市宣言を見聞きしたことがある市民割合を増やします。

40.0%(平成27年度)→70.0%(令和3年度目標)

連携団体

平等社会を推進するネットワーク苫小牧、苫小牧市町内会連合会、できることからはじめのいっぽ、苫小牧工業高等専門学校、苫小牧商工会議所、苫小牧心身障害者職親会、大谷和広弁護士事務所、社労士ヤナセ事務所、ファザーリングジャパン北海道、ito企画、苫小牧市法人保育園協会、苫小牧市議会、出光興産(株)北海道精油所、王子製紙(株)苫小牧工場、苫小牧信用金庫、苫小牧埠頭(株)、トヨタ自動車北海道(株)、北海道電力ネットワーク(株)苫小牧支店、(医)玄洋会道央佐藤病院、苫重建設(株)、北海道アルミ建材工業(株)、(株)山口工業所。

今後の課題

動画の再生回数や参加者の感想を考慮すると、男女平等参画に関する意識は少しずつではあるものの向上している手ごたえはあります。しかしながら、意識調査の結果を見るとすべてに届いていない結果になっているため、今後も継続した啓発活動が必要となります。

事業の概要

自分らしさ応援EXPO

・男女平等参画を推進する動画配信

①市長と多世代ワールドカフェ

苫小牧市長と年齢も性別も様々な参加者と男女平等参画の推進に関するディスカッションの様態を配信

②視えないから見える世界～ダイバーシティ推進の意義と方策～

ダイバーシティとは何か、ダイバーシティを推進するために必要な意識改革は何かについて配信

③見てください！聞いてください！女性議員のリアル

女性議員のホントのところをお聞きし、女性の政治参加を応援するために配信

その他、みんなでワイワイ☆子育てイベント、パパから始めよう！わが家の子育て、ザ・ドキュメント建設業界で輝く女性たち、ロールモデルカフェを配信



・パネル展～男女平等参画の変遷、1万人アンケート結果、働きやすい職場のための取組紹介を実施

